

合併のお知らせ

このたび、宮崎都城信用金庫及び南郷信用金庫の両信用金庫は、平成32年1月を目処として、対等の立場で合併することで合意いたしました。

宮崎都城信用金庫は宮崎市に、南郷信用金庫は日南市に本店を置き、永年にわたり各々の営業地域において、信用金庫としての役割である地域金融の円滑化を通して、地域経済及び社会の発展に寄与することに邁進してまいりました。

こうした共通の使命を持つ信用金庫同志が、各々の営業基盤と経営資源とを統合することで、地域金融機関としての総合力を一層強化し、もって経営の健全性と信頼性を更に高め、地域の皆様のより多様かつ高度な金融ニーズにお応えすべく、合併に向け協議してまいりました。

本合併を機に、より皆様に信頼されご期待にそえる信用金庫として、また真に地域に必要とされる信用金庫となりますよう、なお一層の努力をしていく所存でございます。

今後は、順次合併に向けた手続きを進めてまいりますとともに、お客様をはじめとして各方面からのご協力を得て、一日も早く今回の合併の効果が発揮されるよう、役職員一丸となって努力する所存でございますので、格別のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年1月25日

宮崎都城信用金庫	理事長	増森	幸一
南郷信用金庫	理事長	阿部	政廣

合併趣意書

この度、宮崎都城信用金庫と南郷信用金庫は、代表者間において協議を重ねた結果、平成32年1月を目処として、対等の立場で合併することに合意致しました。

現状、金融機関を取り巻く環境は非常に厳しいものがあり、また、将来を展望しましても、高齢化の進行や人口減少といった社会構造上の大きな課題にも真摯に向き合う必要があります。

このような状況下、地域金融を担う信用金庫として、将来に亘って十二分にその社会的使命を果たしていくためにも、より強固な経営基盤を構築することが最大の方策であるとの認識で一致しました。

現在、宮崎都城信用金庫は宮崎市および都城市を中心に、南郷信用金庫は日南市および串間市を中心に営業を展開しておりますが、今回の合併によって、宮崎市以南の地域全体を網羅する一大営業網が完成することとなりますので、合併による相乗効果が十分に発揮されるとの確信から合意に至ったものであります。

今回の合併の目指すものは、次のとおりと考えております。

1. 本合併によって、両金庫の効果的な店舗網の活用や信用金庫特有の **Face to Face** の対面取引を基本とする細やかな営業活動等を通して、地域のお客様の更なる利便性向上を目指します。
2. 国内全体では、景気の拡大基調が続いているとされていますが、地域経済は、好転の兆しはあるものの、厳しい状況が続いており、本合併によるスケールメリットを活かして、地元中小企業に対する更なる円滑な資金提供等を行い、もって地域社会の発展や中小企業の育成にこれまで以上に貢献して参ります。
3. 人材の有効活用、事務コスト、更には店舗も含めた効率化等によって、多様化・高度化するお客様の要望に十分かつ的確に応え、更には、来たるべき超高齢化社会や人口減少等の社会構造の変化やビジネスの AI 化等にもしっかりと対応できる信用金庫を目指します。

以上のように、合併後は、更なる経営体質の強化と地域金融機関として確固たる経営基盤を構築し、より一層、お客様の利便性向上と地域社会の発展に貢献して参る所存であります。

今後は、順次所定の合併手続きを進めて参りますとともに、お客様をはじめとして各方面からのご協力を得て、一日も早く今回の合併の効果が発揮されるよう、役職員一丸となって努力する所存でありますので、格別のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年1月吉日

宮崎都城信用金庫 理事長 増森幸一
南郷信用金庫 理事長 阿部政廣

合併の基本事項

1. 合併期日 平成32年 1月を目処とする。
2. 合併の方法 対等合併とし、合併手続上は宮崎都城信用金庫を存続金庫とする。
3. 名 称 合併後の金庫の名称は、合併準備委員会で協議のうえ決定する。
4. 合併後の本店 宮崎都城信用金庫の本店とする。
5. 合併後の役員 理事長は、増森 幸一（現 宮崎都城信用金庫 理事長）とし、会長を阿部 政廣（現 南郷信用金庫 理事長）とする。その他の役員については、別途協議する。
6. 職員の引継ぎ 存続金庫において引き続き雇用する。
7. その他合併の主要事項
 - (1) 合併金庫の出資 合併比率は対等とし、出資1口の金額は50円とする。
 - (2) 合併の効力 平成31年 6月に開催予定の通常総代会決議および九州財務局長の認可を条件とする。
 - (3) 合併準備委員会 合併に関する細目を協議するため、合併準備委員会を設ける。
8. 両金庫の概要
沿革・営業地域 別紙のとおり

1. 両金庫の概要

(単位：百万円)

金庫名		宮崎都城信用金庫	南郷信用金庫	合計
本店所在地		宮崎市橋通東2丁目 4番1号	日南市吾田東4丁目 1番1号	
理事長		増森 幸一	阿部 政廣	
預金積金(未残)		136,211	80,342	216,553
貸出金(未残)		82,940	37,088	120,028
自己資本比率		7.41%	14.84%	9.91%
不良債権比率		2.66%	4.96%	3.37%
普通出資金		1,549	467	2,016
会員数		19,550人	14,883人	34,433人
常勤役職員数		189人	104人	293人
店舗数		20店	10店	30店
ATM台数		45台	18台	63台
宮崎県内順位	預金	2位	3位	2位
	貸出金	2位	3位	1位

※平成30年3月末現在

2. 沿革

宮崎都城信用金庫

大正 7年 6月 宮崎信用組合として設立
 昭和26年 6月 宮崎信用金庫に改組
 平成30年 1月 都城信用金庫と合併し、「宮崎都城信用金庫」に改称
 現在に至る

南郷信用金庫

大正15年11月 目井津信用組合として設立
 昭和27年 6月 南郷信用金庫に改組
 平成13年 3月 日南信用金庫の事業譲受
 現在に至る

3. 営業区域

宮崎都城信用金庫

宮崎市、都城市、延岡市（旧北方町、旧北浦町、旧北川町を除く）、日向市（旧東郷町を除く）、日南市、西都市、串間市、小林市、えびの市、児湯郡、東諸県郡、北諸県郡、西諸県郡、東臼杵郡門川町、鹿児島県曾於市、鹿児島県志布志市志布志町、鹿児島県志布志市松山町

南郷信用金庫

日南市、串間市、宮崎市（旧佐土原町、旧高岡町を除く）